

建築構造 鉄筋コンクリート・一部木造地上1階地下1階、建築延べ面積 4,699 m<sup>2</sup>

### (3) 規模等

#### ① 人員

学芸班を含む総務班以外 10 名、総務班 7 名、合計 17 名（平成 15 年 4 月 1 日現在）

#### ② 年間予算等

年間予算 136 百万円（人件費含む）

投下資本 24 億円（建物 24 億円）

## 2 業務現況

農業科学館の利用状況の各種指標は次のとおりである。

なお、平成15年度の事業内容は、「添付資料 I 主な施設と事業内容（平成15年度） 1 農業科学館 ②主な事業内容」に記載している。

### (1) 入館者数の推移

表1-1 入館者数の推移

（単位：人）

年度	H3 年度	H4 年度	H5 年度	H6 年度	H7 年度	H8 年度	H9 年度	H10 年度
入館券で把握	91,636	50,462	40,407	28,175	29,128	31,924	36,371	33,649
館外で把握 (注) 1	(注) 2	(注) 2	(注) 2	3,700	4,781	6,930	9,499	8,957
入館者数	91,636	50,462	40,407	31,875	33,909	38,854	45,870	42,606

開館

年度	H11 年度	H12 年度	H13 年度	H14 年度	H15 年度
入館券で把握	57,229	57,940	72,069	80,703	86,891
館外で把握 (注) 1	1,932	6,929	8,843	9,583	21,137
入館者数	59,161	64,869	80,912	90,286	108,028

(注) 3

(注) 4

(注) 1. 入館券を受付で入手しなかった入館者を目測で把握した人数である。把握方法は、館外の園内で作業している職員（複数人）の目測把握人数の平均値を採用している。入館券で把握した入館者数と重複する可能性があるが、農業科学館の職員によると、リピーターが多く、入館券を入手したか否かは、ほぼ把握でき、また、複数の職員による目測であるため、極端な目測誤りを補正できるとのことである。

上記の館外での入館者の把握方法を適切に実施する限り、ほぼ適切な入館者数が把握でき、また、入館者を把握する目的だけのために、機器を導入することは本末転倒であると考え、入館者数の把握方法について問題点として指摘はしなかった。

- (注) 2. H3, H4, H5 年度は入館券で把握と、館外で把握の区分けは行われていない。
- (注) 3. H11 年度に、入館料を無料化している。「館外で把握」の人数が減少しているのは、無料化に伴い、館内も見学するようになったためである。
- (注) 4. 「館外で把握」の人数が増加しているのは、無料化が浸透し、家族連れのリピーターが増加したこと。また、バラ園が拡大し、入館者が増加したためである。

## (2) 企画展示の推移

表1-2 企画展示の推移

	H11 年度	H12 年度	H13 年度	H14 年度	H15 年度
件数 (件)	31	32	26	37	33

(注) 企画展示の見学者数は、把握されていない。

## (3) 園芸教室の推移

表1-3 園芸教室の推移

	H11 年度	H12 年度	H13 年度	H14 年度	H15 年度
件数 (件)	21	20	12	12	11
参加人数 (人)	840	522	402	286	228

## (4) およこ自然教室の推移

表1-4 およこ自然教室の推移

	H11 年度	H12 年度	H13 年度	H14 年度	H15 年度
件数 (件)	10	13	(注)4	11	17
参加人数 (人)	360	695	482	814	784

(注) 好評でなかった教室を取り止めたため、件数は減少している。

## (5) 花工房の推移

表1-5 花工房の推移

	H11 年度	H12 年度	H13 年度	H14 年度	H15 年度
件数 (件)	—	—	5	5	5
参加人数 (人)	—	—	104	84	75

## (6) 園芸相談の推移

表1-6 園芸相談の推移

	H11 年度	H12 年度	H13 年度	H14 年度	H15 年度
件数 (件)	—	—	12	12	11
参加人数 (人)	—	—	74	114	141

## (7) ふれあいデーの推移

表1-7 ふれあいデーの推移

	H11 年度	H12 年度	H13 年度	H14 年度	H15 年度
件数 (件)	—	—	—	4	2
参加人数 (人)	—	—	—	2,375	869

## (8) セカンドスクールの利用プログラムの推移

表1-8 セカンドスクールの利用プログラムの推移

	H11 年度	H12 年度	H13 年度	H14 年度	H15 年度
参加学校 (校)	62	72	114	147	143
参加人数 (人)	2,447	2,826	4,640	6,232	6,097

## II 総合教育センター

### 1 概要

#### (1) 設立目的

秋田県総合教育センター条例第1条によれば、秋田県の教育に関する研究および教育関係職員の研修を行い、もって教育の振興を図るため設置されたものである。

#### (2) 業務内容

##### ① 概要

秋田県教育委員会行政組織規則第18条では、総合教育センターの所管業務は次のとおりとされている。

- ① 教育に関する専門的・技術的な事項の調査研究に関すること
- ② 教職員の研修に関すること
- ③ 情報教育に関すること
- ④ 教育に関する資料の収集及び提供に関すること
- ⑤ 教育相談に関すること

これらを踏まえ、教育に関する研究および教育関係職員研修の中核機関としての機能を果たすために、最新の施設設備の活用を図りながら、運営面の体制を万全にし、時代の要請に応えられる各種事業の遂行に当たっている。

##### ② 所在地

秋田県南秋田郡天王町天王字追分西 29-76

##### ③ 設立（沿革 抜粋）

昭和30年8月 : 秋田県教育研究所を設置

昭和40年4月 : 秋田県理科教育センターを設置

昭和44年12月 : 秋田県教育研究所、秋田県理科教育センターを廃止し、秋田県教育センターとして発足

昭和56年3月 : 秋田県特殊教育センター設置条例・規則を制定

- 昭和 56 年 5 月 : 秋田県特殊教育センター業務開始
- 昭和 61 年 6 月 : 秋田県特殊教育センター設置条例を廃止し、秋田県教育センターに特殊教育研修部を設置
- 平成 7 年 4 月 : 秋田県総合教育センターと名称変更し、現在地に設置

#### ④施設の概要

敷地面積 89,565 m<sup>2</sup>

建築面積 14,861 m<sup>2</sup>

建築構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 3 階建一部 4 階建

### (3) 規模等

#### ①人員

総務課 11 名（所長、副所長を含む）、教職研修部 7 名、教科研修部 14 名（うち 1 名総務課と兼任）、インターネット授業推進室 1 名、情報教育推進部 11 名、特殊教育・相談研修部 10 名、合計 54 名（平成 15 年 4 月 1 日現在、上記人員には休職者、非常勤・臨時職員を含んでいる。）

なお、平成 16 年度から組織改編し、上記の 1 課 4 部 1 室を廃止し、全 7 班体制（総務班、教職研修班、教科研修班、情報教育研修班、児童生徒支援班、特別支援教育班、研修企画班）に改組している。

#### ②年間予算等

年間予算 605 百万円（人件費含む）

投下資本 57.3 億円（土地 2.8 億円、建物 54.5 億円）

## 2 業務現況

総合教育センターの利用状況の各種指標は次のとおりである。

### (1) 研修等の回数、日数及び参加者（研修生）数の推移

表2-1 総合教育センター研修等回数、日数及び参加者（研修生）数推移表

研修別・項目	年度	研修回数 (回)	研修日数 (日)	研修生数 (人)	延研修生数 (人)	研究発表件数
A（必修）講座	11	28	141	2,022	7,697	
	12	30	178	1,664	6,645	
	13	30	132	1,685	6,622	
	14	30	154	1,303	5,563	
	15	31	180	1,362	7,146	
B（推薦）講座	11	16	39	582	1,531	
	12	14	40	548	1,535	
	13	15	37	585	1,491	
	14	18	49	632	1,635	
	15	19	49	630	1,509	
C（応募）講座	11	93	160	1,988	2,942	
	12	94	162	1,877	2,877	
	13	93	161	1,855	2,903	
	14	90	157	2,077	3,142	
	15	82	145	1,827	2,680	
教育研究発表会	11	1	2	650	1,244	発表本数 85 本
	12	1	2	660	1,283	発表本数 105 本
	13	1	2	630	1,176	発表本数 125 本
	14	1	2	520	985	発表本数 104 本
	15	1	2	490	929	発表本数 111 本
上記以外の利用	11	111	158	8,985	12,790	
	12	117	173	9,368	13,852	
	13	125	191	9,774	14,935	
	14	147	207	13,952	19,647	
	15	174	233	14,747	19,748	

研修別・項目	年度	研修回数 (回)	研修日数 (日)	研修生数 (人)	延研修生数 (人)	研究発表件数
合 計	11	249	500	14,227	26,204	
	12	256	555	14,117	26,192	
	13	264	523	14,529	27,127	
	14	286	569	18,484	30,972	
	15	307	609	19,056	32,012	

(注) 上記以外の利用としては、教育庁主催の研修、スタディイン、サマーキャンプ等がある。

## (2) 講座数の推移

表 2-2 講座数の推移

年 度	A講座	B講座	C講座	合計
H13年度	30	15	93	138
H14年度	30	18	91	139 (注)
H15年度	31	19	82	132

(注) 休講1 (実施講座は138講座)

## (3) 公開講演聴講者数の推移

表 2-3 公開講演聴講者数の推移

	H13年度	H14年度	H15年度
受講者	533	277	311
一般聴講者	36	32	40
センター所員等	341	248	285
合計	910	557	636

(注) 公開講演は教職員研修を一般人にも公開している講演であり、受講者とは、通常の教職研修として受講している教職関係者を指している。

#### (4) 教育相談数の推移

##### ① 特殊教育関係教育相談

表 2-4 特殊教育関係教育相談

		発 達	身体・言 語	情 緒	就 学	知能検査	合 計
H13年度	受理件数	18	3	23	12	10	66
	相談回数	96	16	113	51	11	287
	電話相談 回数	3	3	10	4	1	21
H14年度	受理件数	15	0	36	11	6	68
	相談回数	78	0	133	12	7	230
	電話相談 回数	2	1	8	7	0	18
H15年度	受理件数	11	2	35	5	21	74
	相談回数	34	2	149	13	22	220
	電話相談 回数	3	2	11	4	0	20

(注) 受理件数は、来所者 1 名につき 1 件としてカウントしている。

##### ② 生徒指導関係教育相談

表 2-5 生徒指導関係教育相談

		情 緒	社会・適 応	生活・習 慣	学 業	学校への 要望	合 計
H13年度	受理件数	73	4	4	1	1	83
	相談回数	400	18	20	1	0	439
	電話相談 回数	141	5	183	10	5	344
H14年度	受理件数	51	1	3	1	1	57
	相談回数	192	1	25	7	2	227
	電話相談 回数	199	14	147	23	10	393
H15年度	受理件数	54	3	13	2	0	72
	相談回数	265	4	30	16	0	315
	電話相談 回数	196	8	222	12	51	489

(注) 受理件数は、来所者 1 名につき 1 件としてカウントしている。



(5) 「花まるっ教育ネット kna」の運用状況の推移

① トップページアクセス数

表2-6 トップページアクセス数推移表

	H13年度	H14年度	H15年度	累 計
アクセス数	148,253	651,105	901,392	2,033,272

② 電子顕微鏡画像の提供の推移

表2-7 電子顕微鏡画像の提供の推移

	H13年度	H14年度	H15年度	累 計
登録済み画像数	8	8	10	310

## (6) インターネット TV 授業教科等別実施数

表2-8 インターネットTV授業教科等別実施数（平成15年度：9月～3月）

教科等	授 業	相 談	合 計
国語	22	21	43
社会	7	6	13
算数・数学	24	16	40
理科	57	34	91
生活	3	3	6
音楽	10	10	20
図工 美術	9	5	14
体育 保健体育	14	9	23
家庭 技術・家庭	8	11	19
英語	6	6	12
総合的な学習の時間	15	12	27
特別活動	7	2	9
情報教育	0	1	1
生徒指導	0	1	1
特別支援教育	4	6	10
その他	0	4	4
合計	186	147	333

(注) インターネットTV授業の利用開始日は、平成15年9月9日である。

## (7) ソフトウェアライブラリ利用人数の推移

表 2-9 ソフトウェアライブラリ利用人数の推移

	H13 年度	H14 年度	H15 年度	累 計
利用人数	276	227	98	2,321

## (8) 教育研究発表会の実施状況の推移

### ① 研究発表点数

表 2-10 教育発表点数

	H13 年度	H14 年度	H15 年度
総合教育センター研修部（研究班）	4	4	5
総合教育センター共同・グループ	2	0	0
総合教育センター指導主事	0	5	4
総合教育センター研修員	40	40	40
教育機関研修員	10	0	0
教育奨励賞応募者	13	11	12
内地留学者	7	7	8
一般応募者	43	33	38
チャレンジ研修 （海外コミュニケーション研修）	5	4	4
その他（ドリーム支援事業、すばる）	1	0	0
合計	125	104	111

### ② 所属別参加人数

表 2-11 所属別参加人数

	H13 年度	H14 年度	H15 年度
幼稚園・保育所・保育園	0	8	8
小学校	473	330	385
中学校	226	211	179
高等学校	123	122	26
特殊教育学校	69	53	70
その他	285	261	261
（ ）内は一般	(0)	(2)	(1)
合計	1,176	985	929

(注) 1. 参加人数は2日間の延べ人数である。

(注) 2. 参加人数は講演聴講者を含む。

(注) 3. H15 年度の高等学校参加人数の減少は、平成 15 年度より「高等学校 5 年経過経験研修」に企業体験研修が加わり、教育研究発表会の参加に係る研修内容が削減されたことによる。

## (9) セカンドスクールの利用状況の推移

### ①セカンドスクールの利用の学校数

表 2-12 セカンドスクールの利用の学校数

	小学校	中学校	合 計	うち宿泊
H13 年度	3	3	6	小学校：2、中学校：1
H14 年度	8	5	13	中学校：2
H15 年度	12	4	16	小学校：1

### ②スタディイン等での各種設備の使用状況

表 2-13 スタディイン等での各種施設の使用回数

	スタディイン	サイエンスキャンプ	合 計
プラネタリウム	8	1	9
電子顕微鏡	2	0	2
天体望遠鏡	0	1	1

(注) サイエンスキャンプは2泊3日で行われているが、使用回数1回とカウントした。